

# 計画相談と放課後等デイサービスとの連動

## ～ 正しいアセスメントと子どもの将来像 ～

スぺシャルニーズ アシスト協会



紹介動画



SNA協会HP



サクセス7HP



イベントスケジュール



特典検索



入会申込書



TEL



mail



MAP



戦略会議



QRコード



研修資料

SNA研修資料



研修資料



SNA協会

ハピネスキッズ R2.7.9

右のQRコードから  
左のページの表示を  
お願いします。



(一社)スペシャルニーズアシスト協会  
代表理事 田中 聡



# 支援計画をみる

## 【全体像を知る】



「お母さん、ガイドラインではですね・・・」

## 放課後等デイサービスガイドライン 1 総則

### (1) ガイドラインの趣旨

### (2) 放課後等デイサービスの基本的役割

#### ○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

#### ○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

#### ○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③

### (3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

#### ① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行

#### ② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通じた成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

### (4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

#### ① 適切な支援の提供と支援の質の向上

○ 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。

○ 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保+習得意欲喚起

○ 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

#### ② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

○ 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。

○ 事業所が、地域社会からの信頼を得るため、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

#### ③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

○ 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定

○ 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

# よりどころは？

サンクスシェア田中作成2019

|                       | 設置者・管理者               |                           | 児童発達支援管理責任者                               |                               | 従業者                                  |                            |
|-----------------------|-----------------------|---------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|
| 子どものニーズに応じた適切な支援の質の向上 | 環境・体制整                | 事業所運営の理念・方針の設定・見直しと職員への徹底 |                                           | 子どもと保護者及びその置かれている環境に対するアセスメント |                                      | 障害児支援利用計画及び放課後等デイサービス計画の理解 |
|                       |                       | 複数のサイクルでの目標設定と振り返り        | 放課後等デイサービス計画に基づくPDCAサイクル等による適切な支援の提供      | 放課後等デイサービス計画の作成               | 放課後等デイサービス計画に基づくPDCAサイクル等による適切な支援の提供 | 従業者間での意思の疎通、支援内容の共有        |
|                       |                       | コミュニケーションの活性化等            |                                           | タイムテーブル、活動プログラムの立案            |                                      |                            |
|                       |                       | 子どもや保護者の意向等の把握            |                                           | 日々の適切な支援の提供                   |                                      |                            |
|                       |                       | 支援の継続性                    |                                           | 放課後等デイサービス計画の実施状況把握（モニタリング）   |                                      |                            |
|                       | PDCAサイクルによる適切な事業所の管理  |                           |                                           | モニタリングに基づく放課後等デイサービス計画の変更     |                                      | 支援提供に際しての工夫                |
|                       |                       |                           |                                           | 事業所主宰の業務改善サイクルへの積極的関与         |                                      | 支援提供記録                     |
|                       |                       |                           |                                           |                               |                                      | 事業所主宰の業務改善サイクルへの積極的関与      |
|                       |                       | 従業者等の知識・技術の向上             | 従業者等の知識・技術の向上意欲の喚起<br>研修受講機会等の提供          | 従業者及び自らの知識・技術の向上              | 研修受講等による知識・技術の向上                     |                            |
|                       |                       | 関係機関・団体や保護者との連携           | 障害児相談支援事業者との連携                            | 関係機関・団体や保護者との連携               | 障害児相談支援事業者との連携                       | 関係機関・団体や保護者との連携            |
| 学校との連携                | 学校との連携                |                           | 学校との連携                                    |                               |                                      |                            |
| 医療機関や専門機関との連携         | 医療機関や専門機関との連携         |                           | 医療機関や専門機関との連携                             |                               |                                      |                            |
| 保育所・児童発達支援事業所等との連携    | 保育所・児童発達支援事業所等との連携    |                           | 保育所・児童発達支援事業所等との連携                        |                               |                                      |                            |
| 他の放課後等デイサービス事業所等との連携  | 他の放課後等デイサービス事業所等との連携  |                           | 他の放課後等デイサービス事業所等との連携                      |                               |                                      |                            |
|                       | 放課後児童クラブや自治会等との連携     | 放課後児童クラブや自治会等との連携         | 放課後児童クラブや自治会等との連携                         | 放課後児童クラブ等との連携                 |                                      |                            |
|                       | 協議会等への参加              | 協議会等への参加                  | 協議会等への参加                                  |                               |                                      |                            |
|                       | 保護者との連携               | 保護者との連携                   | 保護者との連携                                   | 保護者との連携                       |                                      |                            |
| 子どもに対する責任と保護者説明       | 運営規程の周知               |                           | 子どもと保護者に対する運営規程や放課後等デイサービス計画の内容についての丁寧な説明 |                               |                                      |                            |
|                       | 子どもと保護者に対する支援利用申込時の説明 |                           |                                           |                               |                                      |                            |
|                       | 保護者に対する相談支援等          |                           | 保護者に対する相談支援等                              |                               | 保護者に対する相談支援等                         |                            |
|                       | 苦情解決対応                |                           | 苦情解決対応                                    |                               | 苦情解決対応                               |                            |
|                       | 適切な情報伝達手段の確保          |                           | 適切な情報伝達手段の確保                              |                               |                                      |                            |
|                       | 地域に開かれた事業運営           |                           |                                           |                               |                                      |                            |
| 緊急時・法令遵守等への対応         | 緊急時対応                 |                           | 緊急時対応                                     |                               | 緊急時対応                                |                            |
|                       | 非常災害・防犯対策             |                           | 非常災害・防犯対応                                 |                               | 非常災害・防犯対応                            |                            |
|                       | 虐待防止の取組               |                           | 虐待防止の取組                                   |                               | 虐待防止の取組                              |                            |
|                       | 身体拘束への対応              |                           | 身体拘束への対応                                  |                               | 身体拘束への対応                             |                            |
|                       | 衛生・健康管理               |                           | 衛生・健康管理                                   |                               | 衛生・健康管理                              |                            |
|                       | 安全確保                  |                           | 安全確保                                      |                               | 安全確保                                 |                            |
|                       | 秘密保持等                 |                           | 秘密保持等                                     |                               | 秘密保持等                                |                            |
|                       |                       |                           |                                           |                               |                                      |                            |

# 発達支援とは・・・

児童発達支援ガイドライン（厚生労働省）

|              |                                                                                                                           |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康・生活        | 健康状態の把握 健康の増進 リハビリテーションの実施 基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える                                                                   |
| 運動・感覚        | 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応                             |
| 認知・行動        | 感覚や認知の活用 知覚から行動・認知の過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応                                            |
| 言語・コミュニケーション | 言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 指さし、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援 コミュニケーション機器の活用 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 |
| 人間関係・社会性     | アタッチメント（愛着行動）の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから共同遊びへの支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援                                    |



# 支援計画を立てる

【支援を計画する手順を踏まえる】



『なにから手をつければいいの？』

# 支援計画の立案と運用の手順

## ① 障がい児支援利用計画を参照する

- ・ 相談支援専門員が作成したプランに沿った作成が必要

## ② 初回面接する

- ・ インテークシートによる利用の背景、利用の必要性等の聞き取り

## ③ 支援計画原案検討会議で協議する（モニタリング時、もしくは更新時）

- ・ 課題の分析
- ・ 支援の具体的内容と支援の方法の吟味

## ④ 文章化する

- ・ 読む人に伝わる文章記述

## ⑤ 支援の記録

- ・ 全体的な行動等の記録 + 子ども別・課題別の記録 の組み合わせ

## ⑥ アセスメントによるモニタリングと支援計画の改善

# 支援計画を立てる手順 ①

【障害児支援利用計画を参照する】



「相談員さん、障害児支援利用計画いただけますか？」



# 支援計画をたてる手順 ①

## 【障がい児支援利用計画の参照】

サービス等利用計画・障害児支援利用計画

| 利用者氏名(児童氏名)                | 〇〇 〇〇                                                                                                                                                                                                                                                            | 障害程度区分                                                               | 無    | 相談支援事業者名                                                                                                                                                                                        | 指定特定相談支援事業所 〇〇  |                                                                    |      |                                                                                                                            |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者氏名                      | 〇〇 〇〇                                                                                                                                                                                                                                                            | 本人との続柄                                                               | 母    |                                                                                                                                                                                                 |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 障害福祉サービス受給者証番号             |                                                                                                                                                                                                                                                                  | 利用者負担上限額                                                             | 〇〇円  | 計画作成担当者                                                                                                                                                                                         | 〇〇 〇〇           |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 地域相談支援受給者証番号               |                                                                                                                                                                                                                                                                  | 通所受給者証番号                                                             |      |                                                                                                                                                                                                 |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 計画作成日                      | 平成〇年〇月〇日                                                                                                                                                                                                                                                         | モニタリング期間(開始年月)                                                       | 〇ヶ月  | 利用者同意署名欄                                                                                                                                                                                        |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への登校や、放課後デイのお迎え時など、マイペースさもあって時間を守ることが難しいです。</li> <li>・状態が良いときは良いのですが、バランスが崩れると歯止めがきかず悪さをすることがあります。</li> <li>・日常生活動作を含め、引き続き自分の気持ちを伝えたり、できることが増えてほしいです。</li> <li>・今は〇〇療育機関の個人セッションを受けているので、必要な時に一緒に行って欲しいです。</li> </ul> |                                                                      |      |                                                                                                                                                                                                 |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 総合的な援助の方針                  | 二次障害につながらないよう、本人の意図をくみ取りながら、信頼感あるコミュニケーションの相互的な情緒交流が出来るよう、福祉サービスによって療育を受けながら、自信をもって生活出来るよう支援します。そのための関係機関との連携や、統一した療育が受けられるよう支援します。                                                                                                                              |                                                                      |      |                                                                                                                                                                                                 |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 長期目標                       | バランスが崩れた時に自分で整える方法を身に付け、実践しながら穏やかに過ごせるようになりましょう。                                                                                                                                                                                                                 |                                                                      |      |                                                                                                                                                                                                 |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 短期目標                       | 認知面での捉え方に幅を利かせ、コミュニケーションにおけるトラブルを少なくしましょう。                                                                                                                                                                                                                       |                                                                      |      |                                                                                                                                                                                                 |                 |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 優先順位                       | 解決すべき課題(本人のニーズ)                                                                                                                                                                                                                                                  | 支援目標                                                                 | 達成時期 | 福祉サービス等                                                                                                                                                                                         |                 | 課題解決のための本人の役割                                                      | 評価時期 | その他留意事項                                                                                                                    |
|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                      |      | 種類・内容・量(頻度・時間)                                                                                                                                                                                  | 提供事業者名(担当者名・電話) |                                                                    |      |                                                                                                                            |
| 1                          | 皆との関わり(相互のやり取り)を持ってほしい。その中で、自分の気持ちを伝えられるようになってほしいです。                                                                                                                                                                                                             | 信頼できる大人の見守りの中、安心できるやりとりを通して、自己表現をしたり、相手の意図を正しく理解し、主体的な行動が出来るよう支援します。 | 6ヶ月  | ①放課後等デイサービス<br>頻度:23.0日/月<br>曜日:月～土曜<br>・A放課後等デイサービス<br>曜日:火、水、木、金曜<br>・B放課後等デイサービス<br>曜日:金曜(心理面談)<br>・C放課後等デイサービス<br>曜日:月曜<br>・D放課後等デイサービス<br>曜日:土曜<br>※長期休暇中においては、利用目的に合わせて曜日や日数を変更し申し込みをします。 |                 | 思いが伝わりあう体験をたくさん経験しましょう。またその方法をたくさん学びましょう。                          | 6ヶ月  | ○語彙数は年齢相応にありますが、言葉を一時的に保持する力や、注意を向け続ける集中力の難しさから、本来行うことからずれることがあるようです。一つひとつ丁寧に言い、達成感を味わうことで、理解と自信につなげましょう。                  |
| 2                          | 出来ることをなるべく早く出来るようになってほしい。(日常生活動作)(時間を守る、見通しを持つ)                                                                                                                                                                                                                  | 本人の理解につながるような支援を行い、できることを増やします。また、周りをみて行動することを意識できるよう支援します。          | 6ヶ月  |                                                                                                                                                                                                 |                 | 楽しく分かりやすく活動できるよう工夫しますね。                                            | 6ヶ月  | ○宿題:音読はご家庭で、それ以外については放課後デイで行い、どうしても分からない部分はご家庭や学校に持ち帰るよう統一します。<br>○体温調節が難しいようです。水分補給は各関係機関しっかり確認して取り組んでいきましょう。             |
| 3                          | 状態が良いときは良いのですが、バランスが崩れると歯止めがきかず悪さをすることがあります。                                                                                                                                                                                                                     | 本人の言動の要因をしっかりとアセスメントしながら、現象だけにとらわれず、良い悪いも含め気持ちの理解に努めます。              | 6ヶ月  | ②〇〇小学校(特別支援学級)<br>③計画相談事業所<br>頻度:適宜<br>④〇〇市役所                                                                                                                                                   |                 | いまの状態に気づけるよう、先生方がお話をしますね。                                          | 6ヶ月  | ○周りをみて状況に合わせた行動が出来るよう支援しましょう。(年齢に合わせた行動も意識しましょう。)<br>※学校の行事等やご家庭の事情により、放課後等デイサービスでは、営業時間前後の延長利用をします。その都度事業所と受け入れについて検討します。 |
| 4                          | 福祉サービスや医療教育との連携を図ったり、情報提供等を行います                                                                                                                                                                                                                                  | 安心して本児の発達を促せるよう、各機関と連携しながら支援をしていきます。                                 | 1年   | ⑤〇〇療育園(医療)<br>⑥〇〇療育機関                                                                                                                                                                           |                 | 不安なことや困ったところがあればいつでも相談して下さいね。【保護者様】お子様の成長を様々な支援機関と連携しながら行っていきましょう。 | 1年   | ※ひとりでの移動には外的要因から事故、怪我等が心配される為、送迎を利用します。                                                                                    |

# 支援計画をみるポイント

## 相談整理票『5ピクチャーズ』

受講番号:

受講者名:

本人氏名:

ざっくりと  
箇条書き程度に

### Pic.4: 生活ニーズアセスメント

●今、どのような困りごとがありますか？

- ・本人の想いに寄り添う
- ・本人の表現を使う
- ・本人の表現を助ける
- ・現状維持というニーズも対象

主語はI

アセスメントの要約  
・100字程度でズレの  
核心を表現する

### Pic.2: こうありたいと思う状況

●今後どのような生活をしたいですか？

- ・夢や希望は大きいほうがよい
- ・その時の夢や希望でよい
- ・本人にとっての意味を理解する
- ・夢を語れる関係がまず必要

主語はI

### Pic.3: 現在の状況

●今、どのような生活をしていますか？

- ・本人のプロフィール
- ・これまでと今の生活状況
- ・取り巻く環境(家族・住居・経済状況等)
- ・現在受けているサービス等

主語はI

### Pic.5: 近づくための方法

●どうすれば近づけるとおもいますか？

- ・本人、環境のストレングスを活用する
- ・ニーズと資源との適切なマッチングはかたちのないものまで含めて柔軟に考える
- ・大きな夢や希望はブレイクダウンしてみる
- ・やれそうな選択肢を挙げてみる

主語はWe

### Pic.1: 着目するストレングス

●どのようなストレングスに着目しますか？

- ・本人のストレングス
- ・環境のストレングス

## 【みるポイント】

- ① 現在の状況の把握  
(アセスメント)
- ② 真のニーズの把握
- ③ ズレを埋める目標  
設定の適切性
- ④ 支援方法の実効性
- ⑤ スtrenグスの活用

# 支援計画をみるポイント

平成○年度 放課後等デイサービス○○ 障害児通所支援計画書

|               |                                                                              |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|----------|----------|----------|-----------|
| ふりがな          |                                                                              |                                                  |                                                                                                                              | 性別       | 男  | 生年月日     | 平成○年○月○日 | 所 属      | ○○市立○○小学校 |
| 氏 名           |                                                                              |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 住 所           | 〒<br>○○市○○町1000-1                                                            |                                                  |                                                                                                                              | 電話       |    |          |          |          |           |
|               |                                                                              |                                                  |                                                                                                                              | 携帯       |    |          |          |          |           |
| 診 断           | #1 自閉スペクトラム症<br>#2 注意欠如・多動症<br>#3 境界認知能                                      | 療育<br>手帳                                         | なし                                                                                                                           | 身体<br>手帳 | なし | 精神<br>手帳 | なし       |          |           |
| 家族の状況         | 父(単身赴任)・母・姉(同居)                                                              |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 関係機関          | 計画相談事業所○○(○氏)・放課後等デイサービス△△                                                   |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 主 訴           | 心のケア 心で思いでも、人間関係を学んでほしいです。課外活動の様々な所に連れて行ってほしいです。                             |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 総合的<br>支援目標   | 精神的な安定感を得ることで、幅広い人間関係を作れるよう支援します。<br>課外活動では、様々な体験を通して自信をつけ、情緒豊かに楽しめるよう支援します。 |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 長期目標          | 一人でも安心して主体的な行動ができるようになりましょう。                                                 |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 短期目標          | 大人との信頼関係を築きながら、安心して活動に参加できるようになりましょう。                                        |                                                  |                                                                                                                              |          |    |          |          |          |           |
| 領 域           | 発達課題<br>(～が必要)                                                               | 援助目標                                             | 支援の種類・内容・量等                                                                                                                  |          |    |          |          | 評価<br>時期 |           |
| 利用計画2<br>発達支援 | ワーキングメモリの低さがあり、言葉の保持が難しいようです。                                                | 理解できるように話すことや、必要に応じては視覚情報を用いながら、“わかった”を実感につなげます。 | ①コミュニケーション・サーキット<br>4つの課題を通して、人と協力する事(一緒に行動)、タイミングを合わせる事、譲り合う事、からだへの意識を向けコントロールする事などを学びます。                                   |          |    |          |          | 6ヶ月      |           |
| 利用計画3<br>学習支援 | 不注意優勢があることで気が散ったり、長く集中することが難しいようです。                                          | 宿題や事業所で用意した課題等、1対1で取り組みながら達成感を味わい、集中力を費います。      | ②SST・体幹トレーニング<br>・場面設定を行い、思いの共有や伝え合う練習等を通して自己・他者理解につなげます。<br>・自覚感や体のコントロールを図ります。<br>③余暇活動支援(遊び方の工夫)<br>自分一人や、相手と楽しく過ごせるよう、様々 |          |    |          |          | 6ヶ月      |           |

|               |                                             |                                         |                                                                                                                            |     |
|---------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 利用計画1<br>人間関係 | 一人に固執する様子がみられます。徐々に人との楽しい関わりを持てるようになると良いです。 | 信頼関係を築いた大人から、徐々に子ども達に目を向けられるよう支援します。    | な遊びを通して支援します。<br>他に、施設外の課外活動等を行い、様々な体験を積みながら成功体験を増やし、自己肯定感を高めます。                                                           | 6ヶ月 |
| 経験・体験         | 様々な経験を通して成功体験を積み、自信につなげていくと良いです。            | 公園、施設、食事、見学など、様々な体験を通して達成感を得られるよう支援します。 | ④工作・調理活動<br>その季節に応じて適した工作物や調理を作ることで、1年の意識や手指の巧緻性、集中力、段取りなどを養い、達成感を味わいます。<br>⑤個別面談(心理療法各種)<br>ストレス緩和やリラクセス方法、自己・他者理解等に努めます。 | 6ヶ月 |
| 移動支援          | 送迎を行う                                       | 安心して来所、帰宅が出来るよう送迎を行う                    | ◆事業所送迎車で送迎<br>本児の安全と健康管理に努めます。                                                                                             | 6ヶ月 |
| 家族支援<br>利用計画4 | 本児の状態把握・理解。                                 | 本児の長所・短所を含め困り感を共有します。                   | 学校や保護者等と、本児の適切な理解と問題意識の一致のために情報共有を行います。(本児の了解が得られたものを優先します)                                                                | 1年  |

作成日:平成○年○月○日

作成者:児童発達管理責任者: ○○ ○○ 印

児童保護者: \_\_\_\_\_ 印



# 支援計画をみるポイント

平成○年度 放課後等デイサービス○○ 障害児通所支援計画書

|             |                                                                              |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|----------|----------|-----|-----------|
| ふりがな        |                                                                              |                                                  |                                                                                                                               | 性別       | 男  | 生年月日     | 平成○年○月○日 | 所 属 | ○○市立○○小学校 |
| 氏 名         |                                                                              |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 住 所         | 〒<br>○○市○○町1000-1                                                            |                                                  |                                                                                                                               | 電話       |    |          |          |     |           |
|             |                                                                              |                                                  |                                                                                                                               | 携帯       |    |          |          |     |           |
| 診 断         | #1 自閉スペクトラム症<br>#2 注意欠如・多動症<br>#3 境界認知能                                      | 療育<br>手帳                                         | なし                                                                                                                            | 身体<br>手帳 | なし | 精神<br>手帳 | なし       |     |           |
| 家族の状況       | 父(単身赴任)・母・姉(同居)                                                              |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 関係機関        | 計画相談事業所○○(○氏)・放課後等デイサービス△△                                                   |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 主 訴         | 心のケア 心で思いでも、人間関係を学んでほしいです。課外活動の様々な所に連れて行ってほしいです。                             |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 総合的<br>支援目標 | 精神的な安定感を得ることで、幅広い人間関係を作れるよう支援します。<br>課外活動では、様々な体験を通して自信をつけ、情緒豊かに楽しめるよう支援します。 |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 長期目標        | 一人でも安心して主体的な行動ができるようになりましょう。                                                 |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 短期目標        | 大人との信頼関係を築きながら、安心して活動に参加できるようになりましょう。                                        |                                                  |                                                                                                                               |          |    |          |          |     |           |
| 領 域         | 発達課題<br>(～が必要)                                                               | 援助目標                                             | 支援の種類・内容・量等                                                                                                                   |          |    |          |          |     | 評価<br>時期  |
| 発達支援        | ワーキングメモリの低さがあり、言葉の保持が難しいようです。                                                | 理解できるように話すことや、必要に応じては視覚情報を用いながら、“わかった”を実感につなげます。 | ①コミュニケーション・サーキット<br>4つの課題を通して、人と協力する事(一緒に行動)、タイミングを合わせる事、譲り合う事、からだへの意識を向けコントロールする事などを学びます。                                    |          |    |          |          |     | 6ヶ月       |
| 学習支援        | 不注意優勢があることで気が散ったり、長く集中することが難しいようです。                                          | 宿題や事業所で用意した課題等、1対1で取り組みながら達成感を味わい、集中力を費います。      | ②SST・体幹トレーニング<br>・場面設定を行い、思いの共有や伝え合う練習等を通して自己・他者理解につなげます。<br>・自身体感や体のコントロールを図ります。<br>③余暇活動支援(遊び方の工夫)<br>自分一人や、相手と楽しく過ごせるよう、様々 |          |    |          |          |     | 6ヶ月       |

|       |                                             |                                         |                                                                                                                            |     |
|-------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 人間関係  | 一人に固執する様子がみられます。徐々に人との楽しい関わりを持てるようになると良いです。 | 信頼関係を築いた大人から、徐々に子ども達に目を向けられるよう支援します。    | な遊びを通して支援します。他に、施設外の課外活動等を行い、様々な体験を積みながら成功体験を増やし、自己肯定感を高めます。                                                               | 6ヶ月 |
| 経験・体験 | 様々な経験を通して成功体験を積み、自信につなげていくと良いです。            | 公園、施設、食事、見学など、様々な体験を通して達成感を得られるよう支援します。 | ④工作・調理活動<br>その季節に応じて適した工作物や調理を作ることで、1年の意識や手指の巧緻性、集中力、段取りなどを養い、達成感を味わいます。<br>⑤個別面談(心理療法各種)<br>ストレス緩和やリラクセス方法、自己・他者理解等に努めます。 | 6ヶ月 |
| 移動支援  | 送迎を行う                                       | 安心して来所、帰宅が出来るよう送迎を行う                    | ◆事業所送迎車で送迎<br>本児の安全と健康管理に努めます。                                                                                             | 6ヶ月 |
| 家族支援  | 本児の状態把握・理解。                                 | 本児の長所・短所を含め困り感を共有します。                   | 学校や保護者等と、本児の適切な理解と問題意識の一致のために情報共有を行います。(本児の了解が得られたものを優先します)                                                                | 1年  |

作成日:平成○年○月○日

作成者・児童発達管理責任者: ○○ ○○ 印

児童保護者: 印

# 支援計画をみるポイント

- ① 目的：本人の望ましい成長を意図的・計画的に支援するため
- ② 内容
  - ・ 本人や家族のニーズを踏まえているか？
  - ・ 実現可能な目標か？
  - ・ 本人が達成すべき発達課題を正しくとらえているか？
- ③ 方法
  - ・ 事業所で支援可能な方法か？  
（適切な次元・範囲か？ 具体性があるか？）
  - ・ 本人が達成すべき発達課題への取り組みの時期が適切か？
- ④ 評価
  - ・ できたか、できなかったか、の判定が可能か？  
（行動目標としての記述が必要）

# 子どもの主な進路選択肢

## 学校

特別支援  
学校  
幼稚部

保育園

幼稚園

特別支援学校小学部

小・特別支援学級（在籍）

小・特別支援学級（通級）

小・普通学級

特別支援学校中学部

中・特別支援学級（在籍）

中・特別支援学級（通級）

中 普通学級

特別支援学校高等部

通信制高等学校

定時性高等学校

普通高等学校

専門学校

大学

0

6

12

15

18

児童発達支援

放課後等デイサービス

保育所等訪問支援

## 福祉サービス

一般就労

一般就労（障がい者雇用）

就労継続支援A型

就労継続支援B型

生活介護



## 支援計画を立てる手順 ②

【初回面接：インテークにより基本情報を収集する】



「お母さん、なぜうちを利用しようと思われたんですか？」

- 1 なぜ、放課後等デイサービスを利用しようと思ったのか？（保護者・本人）
- 2 何が本人、もしくは家族の問題・課題なのか？（表のニーズから真のニーズを導き出す）
- 3 問題・課題の具体的な経過説明（いつから？ どこで？ どんな状況？ 期間？ 程度は？ など）
- 4 問題・課題理解に必要な関係機関（学校・医療・併用事業所・地域資源など）の情報
- 5 本人・家族は、その問題・課題をどのように感じ、考えているのか？
- 6 問題・課題は、本人や家族が日常生活を営むのにどれほどの支障を生んでいるのか？
- 7 問題・課題は、どのような発達段階で起きていることなのか？（課題の要因分析・ストーリー化）
- 8 本人の成育歴（成長過程で起こったできごとやエピソード、家族や身近な人との関係性）
- 9 本人のもつ特技、よさ、長所、強みはなにか？
- 10 本人の性格傾向、価値観は何か？ など
- 11 その問題の解決に際し、どのような働きかけがなされてきたか？ または、その予定は？
- 12 問題・課題に影響を及ぼしているキーパーソンはだれか？（よくも悪くも）
- 13 この問題・課題について、影響を及ぼしている人以外の環境や仕組み、決まりなどがあるか？
- 14 この問題・課題を解決するにあたって、利用・活用できる人的・物的・社会資源は何か？
- 15 本人のどのようなニーズが満たされれば、問題が解決に向かうのか？

【チャレンジ】 社会資源マップ（エコマップ）の作成

※ 目の付け所は、ものやひと、環境そのものに加えて、それらの関係性がどうであるか？

- ・ 基本情報（氏名 所属 生年月日など）
- ・ 家族構成（家族の仕事や生活状況 経済状況など）
- ・ ニーズ（本人 家族）
- ・ 関係機関（学校 病院 他の利用事業所 地域の社会資源など）
- ・ 生活歴・障がい歴（障がいの認定 療育相談の経緯など）
- ・ 現在の状況（日常生活 行動の特性や問題 コミュニケーション  
健康面 社会生活能力 興味関心・強み 医療情報  
他の関係機関の情報など）

# 支援計画をたてる手順 ②

## 【アセスメント書式例】

| 一次アセスメント票(児童) |           |    |    |                                                                           |                                                         |            |                                    |  |  |
|---------------|-----------|----|----|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------|------------------------------------|--|--|
| 受付番号          |           |    |    |                                                                           | 訪問者氏名                                                   | 相談支援専門員    |                                    |  |  |
| 訪問日           | 令和        | 年  | 月  | 日                                                                         | 曜日                                                      | 対応者氏名      | 続柄                                 |  |  |
| 訪問目的          |           |    |    |                                                                           |                                                         |            |                                    |  |  |
| ふりがな          |           |    |    | 性別                                                                        | 生年月日                                                    | 令和 年 月 日 歳 |                                    |  |  |
| 氏名            |           |    |    |                                                                           |                                                         |            |                                    |  |  |
| 住所            | 〒         |    |    |                                                                           |                                                         |            |                                    |  |  |
| 連絡先           | 自宅 092 -  |    |    |                                                                           | 携帯                                                      |            |                                    |  |  |
|               | FAX 092 - |    |    |                                                                           | メール                                                     |            |                                    |  |  |
| 家族状況          | 続柄        | 氏名 | 年齢 | 職業・学校                                                                     | 同居／別居                                                   |            | 特記事項                               |  |  |
|               |           |    |    |                                                                           | <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 |            |                                    |  |  |
|               |           |    |    |                                                                           | <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 |            |                                    |  |  |
|               |           |    |    |                                                                           | <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 |            |                                    |  |  |
|               |           |    |    |                                                                           | <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 |            |                                    |  |  |
| シエノグラム        |           |    |    |                                                                           | 主支援者 → 主                                                | 居住環境       | <input type="checkbox"/> 自宅(単身)    |  |  |
|               |           |    |    |                                                                           | 副支援者 → 副                                                |            | <input type="checkbox"/> 自宅(家族と同居) |  |  |
|               |           |    |    | 本人 → <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> | <input type="checkbox"/> GH・CH                          |            |                                    |  |  |
|               |           |    |    | 男性 → <input type="checkbox"/>                                             | <input type="checkbox"/> 病院                             |            |                                    |  |  |
|               |           |    |    | 女性 → <input type="radio"/>                                                | <input type="checkbox"/> 施設                             |            |                                    |  |  |
|               |           |    |    | 死亡者 → <input type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/>           | <input type="checkbox"/> その他                            |            |                                    |  |  |
| 生             |           |    |    |                                                                           |                                                         |            |                                    |  |  |

### 【重要な1ページ】

生活歴をしっかりとインタビューすることにより、なぜ、放課後等デイサービスを利用する必要があるのかを明確に分析する。

## 支援計画を立てる手順 ②

【面接するにあたって所持しておきたい基礎知識】



「お子さんの将来について、一緒に具体化しましょう！」



## 目標設定のポイント

【2つの面から特質を把握する】

### ① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

### ② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度一意欲の特質

### ① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

#### さまざまな発達理論

- ・フロイトの心理学的発達理論
- ・ゲゼルの成熟優位説
- ・行動主義の学習理論
- ・ピアジェの発生的認識論
- ・バンデューラの社会的認知理論
- ・エリクソンの社会的発達理論 など

発達の特長（厚生労働省）

1 乳幼児期

2 学童期

小学校低学年・中学年・高学年

3 青年前期

中学校

4 青年中期

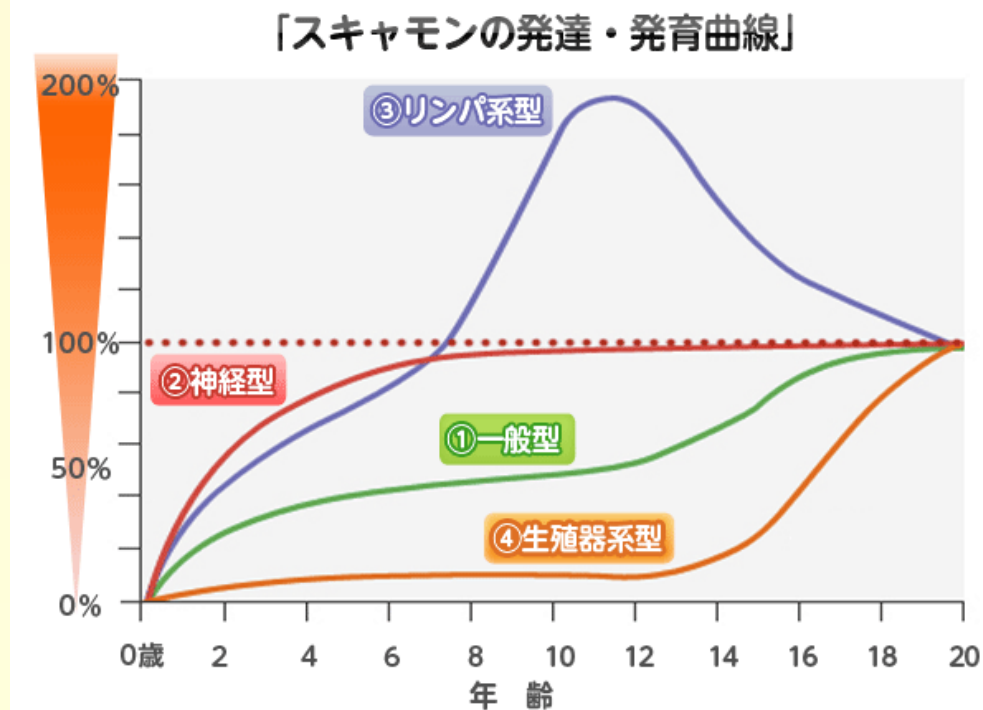
高等学校

### ① 発達的特質の理解

#### 【身体障害の種別】

- ・ **身体的発達**
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

- ・ 視覚障害
- ・ 聴覚障害
- ・ 音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害
- ・ 肢体不自由
- ・ 心臓、じん臓又は呼吸器の機能の障害



### ① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ **知的発達**
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

- ・ 言語理解
- ・ 知覚推理
- ・ ワーキングメモリ
- ・ 処理速度

**WISC-IV**

- ・ 結晶性領域
- ・ 流動性領域
- ・ 記憶領域
- ・ 論理推理

**田中ビナーV**

# 課題分析・分類のポイント

## 【カテゴリ分類を考える視点】



**SACCESS・BELL**  
Scientific access for the better life

FAQ 会社  
検索  
● WWWを検索

▶ 医療関係検査 ▶ 個別式検査 ▶ 学校用検査 ▶ 企業用検査 ▶ 書籍紹介 ▶ 特別支援関連  
▶ 医科診療報酬点数適用心理検査 ▶ コミュニケーションツール ▶ 箱庭療法・心理療法

ご注文 見積のご依頼 資料のご請求 カタログダウンロード お問い合わせ

**商品とサービス紹介**

**HOT!**

▶ **医科診療報酬点数適用心理検査**  
こちらから一覧をご覧ください。

▶ **医療関係検査**  
クリニック、病院関係(心療内科、小児科)でご利用いただいている検査をご紹介します。

➤ 心療内科関係の検査  
➤ 小児科関係の検査  
➤ リハビリ関係の検査

▶ **個別式検査**  
医療・教育などの臨床・研究で使用する検査をご紹介します。

**WAIS-IV知能検査**  
8月30日発売！ご注文承ります。  
画像提供: 日本文化科学社

**SRS-2対人応答性尺度**  
日本文化科学社より2017年12月20日発売！自閉スペクトラム症(ASD)と関連する症状を測定する検査です。  
画像提供: 日本文化科学社

**日本版 WPPSI-III知能検査**  
日本文化科学社より2017年12月22日発売！  
画像提供: 日本文化科学社

**CCC-2子どものコミュニケーション・チェックリスト**  
日本文化科学社より2016年11月発売！コミュニケーションにおける言語的な側面を評価します。  
画像提供: 日本文化科学社

|                  |                     |
|------------------|---------------------|
| ▶ 知能検査           | ▶ 投影法検査             |
| ▶ 親子関係検査         | ▶ 不安・ストレス関係検査       |
| ▶ 発達関係検査         | ▶ 老人精神機能測定・リハビリ関係検査 |
| ▶ 言語関係検査         | ▶ 精神作業検査            |
| ▶ 職業適性・興味検査      | ▶ 健康調査・メンタルヘルス関係    |
| ▶ 言語訓練・失語症・教材セット | ▶ スポーツ競技関係検査        |
| ▶ 性格・人格検査        | ▶ 読書力検査             |

各種検査の  
カテゴリ・領域  
を知る

LD・ADHD等関連  
用語集【第4版】

MEPA-R  
活用事例集

DN-CAS  
の  
解釈と事例

自閉症治療の  
到達点  
2020



# 課題分析・分類のポイント

## 【カテゴリ分類を考える視点】

| 検査名              | 対象年齢          | 検査カテゴリ等                                                                                   |
|------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新版K式発達検査         | 0～13          | 「姿勢・運動」「認知・適応」「言語・社会」                                                                     |
| 田中ビネー検査          | 2～成人          | 「思考」「言語」「記憶」「数量」「知覚」                                                                      |
| ウェクスラー式知能検査      |               | 「言語理解」「視覚空間認識」「流動性推理」「ワーキングメモリ」「処理速度」<br>W P P S I (3～7.3) W I S C V (6～16) W A I S (16～) |
| K A B C - II     | 2.6～<br>12.11 | 「認知(継次 同時 学習 計画)」「習得(語彙 読み 書き 算数)」                                                        |
| D N - C A S 認知評価 | 5～17.11       | 「プランニング」「注意」「同時処理」「継次処理」                                                                  |
| P V T - R 絵画語彙発達 | 3～12.3        | 「語彙理解力」                                                                                   |
| I T P A 言語学習能力   | 3～9.11        | 「言葉の理解」「絵の理解」「言葉の類推」「絵の類推」「言葉の表現」                                                         |
| 構音検査             | 幼～成人          | 「単語」「音節」「音」「文章」                                                                           |
| L C スケール         | 学齢期           | 「文・文章聴覚理解」「語彙定型句の知識」「発話表現」「柔軟性」「リテラシー」                                                    |
| L D I - R        | 小1～中3         | 「基礎学力(聞く 話す 読む 書く 計算 推論 英語 数学)」「行動」「社会性」                                                  |
| 描画検査             |               | 投影検査の一種：バウムテスト H T P テスト                                                                  |
| 投影検査             |               | 絵や写真への反応：ロールシャッハテスト T A T (主題統覚検査)                                                        |
| 質問紙検査            |               | 質問への回答から：Y G 検査 M M P I (ミネソタ多面人格目録) など                                                   |
| 作業検査法            |               | 作業の結果から：内田クレペリン検査 ベンダーゲシュタルトテスト                                                           |

### ① 発達的特質の理解

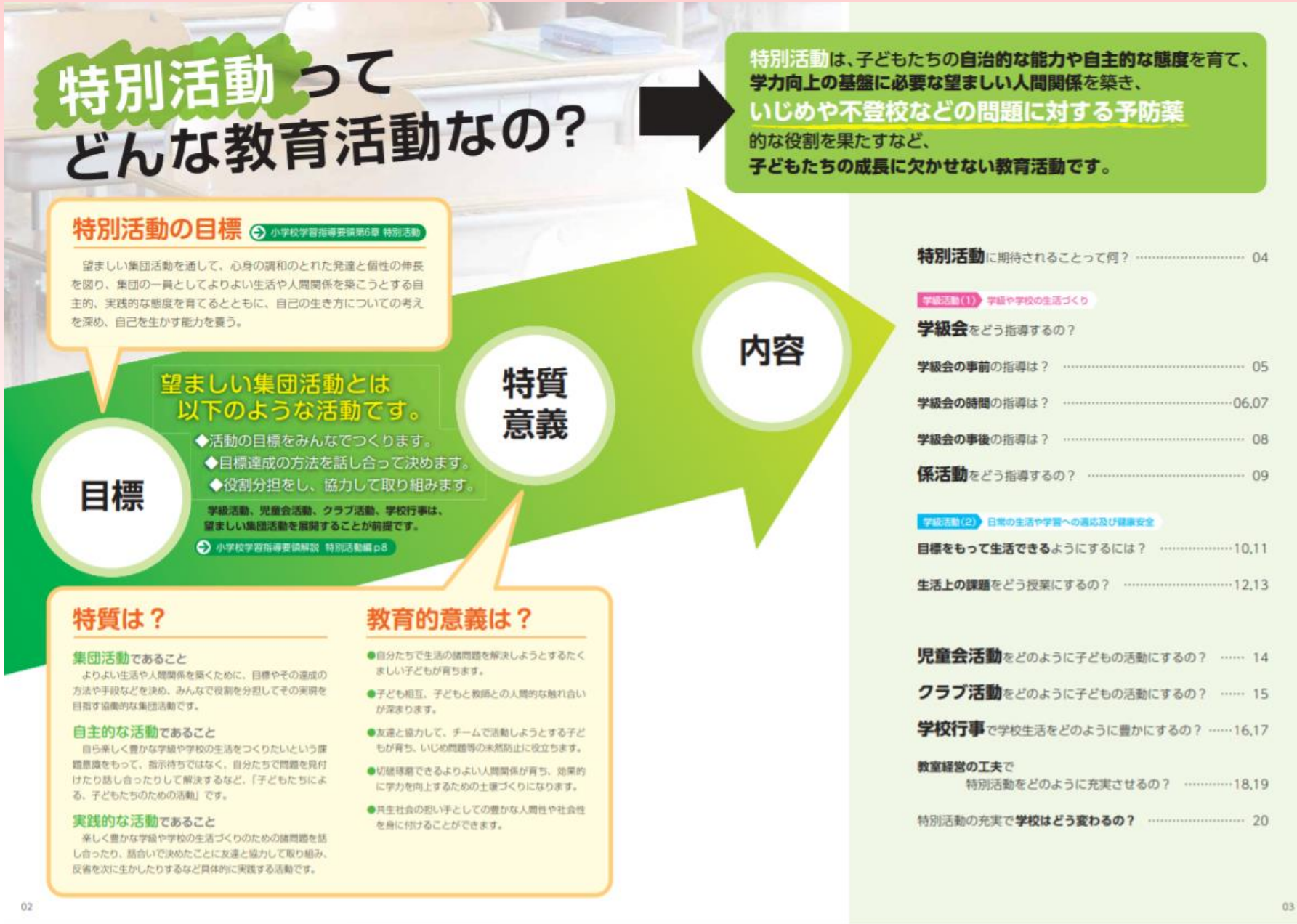
- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ **社会性の発達**
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

- ・ コミュニケーション
- ・ 日常生活スキル
- ・ 社会性
- ・ 運動スキル
- ・ 不適応行動

Vineland-II

- ・ 身辺自立
- ・ 移動
- ・ 作業
- ・ コミュニケーション
- ・ 集団参加
- ・ 自己統制

S-M社会生活



## 【特別活動のねらい】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。



### 日常生活の指導 年間計画

#### 【目標】

- ・ 1 「基本的生活習慣」…日常生活に必要な身辺自立をする
- ・ 2 「健康・安全」…健康で安全な生活をする
- ・ 3 「遊び」…友達とかかわりを持ち、きまりを守って遊ぶ
- ・ 4 「交際」…身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な応対などをする
- ・ 5 「役割」…集団活動に参加し、簡単な役割を果たす
- ・ 6 「手伝い・仕事」…日常生活で簡単な手伝いや仕事をする
- ・ 7 「きまり」…日常生活に必要な簡単なきまりやマナーを守って行動する
- ・ 8 「日課・予定」…日常生活でおよその予定が分かり、見通しをもって行動する
- ・ 9 「金銭」…簡単な買い物をして金銭の扱いに慣れる
- ・ 10 「自然」…自然や生き物への興味や関心を高める
- ・ 11 「社会の仕組み」…家族や身近な地域の様子に興味や関心をもつ
- ・ 12 「公共施設」…身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る

#### ※段階別目標について

- 1 段階…教師と一緒に言う
- 2 段階…教師の援助を受けながら
- 3 段階…自分で

### 基本的生活習慣（きほんてきせいかつしゅうかん）

基本的生活習慣は、子どもが心身ともに健康に育つために生活の基盤となるもので、日常生活の基本となる食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の5つの生活習慣のこと。

「まいと」では、食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の基本的生活習慣に挨拶・片付けを加え指導しています。

小学校就学までの目標。

- \* 食事は、箸を使って自立して食事をする、好き嫌いなく食べることができるようにする。
- \* 睡眠は、決まった時間に寝起きし質のよい睡眠がとれるようにする。
- \* 排泄は、一人ででき後始末も一人でできるようにする。
- \* 清潔は、手洗い、うがい、歯磨き、入浴など、体の清潔を自ら保つことができるようにする。
- \* 衣服の着脱はボタン・ファスナー・リボンなどがあっても一人で着脱できるようにする。
- \* 状況にあった挨拶ができるようにする。
- \* 身の回りの片付けが一人でできるようにする。

### ① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ **自我の発達**
- ・ 基本的欲求の発達

### エリクソンの発達段階





# 課題分析・分類のポイント

## 【カテゴリ分類を考える視点】

| 小学校                               |               |                   |                      | 中学校 |
|-----------------------------------|---------------|-------------------|----------------------|-----|
| 小学校 1・2 年                         | 小学校 3・4 年     | 小学校 5・6 年         |                      |     |
| <b>1 主として自分自身に関すること</b>           |               |                   |                      |     |
| (1) 基本的な生活習慣                      | (1) 基本的な生活習慣  | (1) 基本的な生活習慣・節度節制 | (1) 基本的な生活習慣・調和のある生活 |     |
| (2) 勤勉努力                          | (2) 勤勉・粘り強さ   | (2) 希望・勇気・努力      | (2) 希望・勇気・強い意志       |     |
| (3) 善悪の判断・勇気                      | (3) 善悪の判断・勇気  | (3) 自由・自律・責任      | (3) 自主自律・誠実・責任       |     |
| (4) 正直・明朗                         | (4) 正直・明朗     | (4) 誠実・明朗         | (4) 真理愛・理想の実現        |     |
|                                   | (5) 個性の伸長     | (5) 真理愛・創意工夫      | (5) 向上心・個性の伸長        |     |
|                                   |               | (6) 個性の伸長         |                      |     |
| <b>2 主として他の人とのかかわりに関すること</b>      |               |                   |                      |     |
| (1) 礼儀                            | (1) 礼儀        | (1) 礼儀            | (1) 礼儀               |     |
| (2) 思いやり・親切                       | (2) 思いやり・親切   | (2) 思いやり・親切       | (2) 人間愛・思いやり         |     |
| (3) 友情                            | (3) 信頼友情      | (3) 信頼友情・男女協力     | (3) 信頼友情             |     |
|                                   |               | (4) 寛容・謙虚         | (4) 異性の理解            |     |
| (4) 感謝                            | (4) 尊敬・感謝     | (5) 尊敬・感謝         | (5) 寛容・謙虚            |     |
|                                   |               |                   | (6) 尊敬・感謝            |     |
| <b>3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること</b> |               |                   |                      |     |
| (1) 生命尊重                          | (1) 生命尊重      | (1) 生命尊重          | (1) 生命尊重             |     |
| (2) 自然愛・動植物愛護                     | (2) 自然愛・動植物愛護 | (2) 自然愛・環境保全      | (2) 自然愛・畏敬の念         |     |
| (3) 畏敬の念                          | (3) 畏敬の念      | (3) 畏敬の念          | (3) 弱さの克服・生きる喜び      |     |
| <b>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること</b>    |               |                   |                      |     |
| (1) 規則尊重・公徳心                      | (1) 規則尊重・公徳心  | (1) 公徳心・規則尊重・権利義務 | (1) 法の遵守・権利義務        |     |
|                                   |               | (2) 公正公平・正義       | (2) 公徳心・社会連帯         |     |
|                                   |               | (3) 役割と責任の自覚      | (3) 正義・公正公平          |     |
| (2) 勤労                            | (2) 勤労        | (4) 勤労・奉仕         | (4) 役割と責任の自覚         |     |
| (3) 家族愛                           | (3) 家族愛       | (5) 家族愛           | (5) 勤労・奉仕・公共の福祉      |     |
| (4) 愛校心                           | (4) 愛校心       | (6) 愛校心           | (6) 家族愛              |     |
| (5) 郷土愛                           | (5) 郷土愛       | (7) 郷土愛・愛国心       | (7) 愛校心              |     |
|                                   | (6) 愛国心・国際理解  | (8) 国際理解・親善       | (8) 郷土愛              |     |
|                                   |               |                   | (9) 愛国心              |     |
|                                   |               |                   | (10) 国際理解・人類愛        |     |

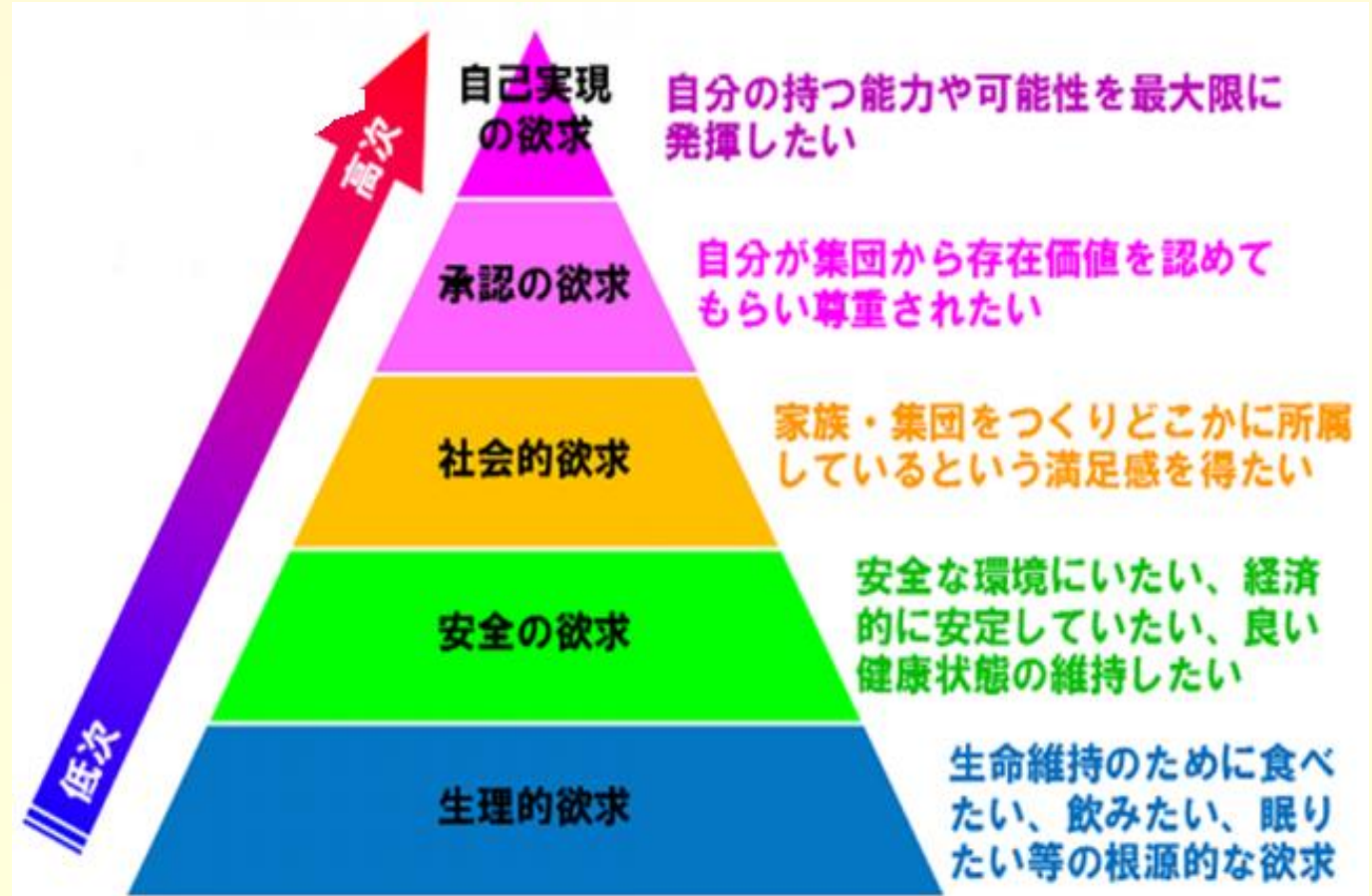
### 【道徳のねらい】

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの**道徳性を養うこと**とする。

### ① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

### マズローの欲求 5 段階説



## ② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度―意欲の特質

(知能・学力・認知及び学習のスタイル)

### 学習指導要領

#### 確かな学力

基礎・基本を確実に身に付け、  
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、  
主体的に判断し、行動し、  
よりよく問題を解決する資質や能力

#### 生きる力

#### 豊かな人間性

自らを律しつつ、  
他人とともに協調し、  
他人を思いやる心や感動する心  
など

#### 健康・体力

たくましく生きるための  
健康や体力

### ② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度・意欲の特質

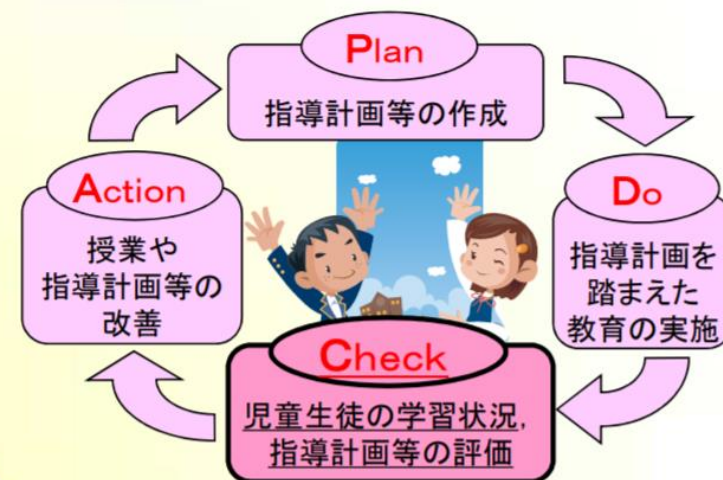
(知能・学力・認知及び学習のスタイル)

学力の3要素  
(学校教育法)  
(学習指導要領)

知識及び技能

思考力・判断力  
・表現力等

主体的に学習に  
取り組む態度



### ② 個人的特質の理解

・ 認知的特質

・ 性格的特質

・ 態度—意欲の特質

(性格特性・人間関係)

- ・ 外向性
- ・ 協調性
- ・ 良識性
- ・ 情緒安定性
- ・ 知的好奇心

主要 5 因子検査

小児用エゴグラム 

- ・ 社会的機能を果たそうとする自我
- ・ 他人を養い育てる自我
- ・ 論理的・合理的に思考する理性的な自我
- ・ 生まれながらの自分を自由に発揮する自我
- ・ 他人の顔をうかがい順応していく自我



### ② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質

- ・ 性格的特質

- ・ 態度-意欲の特質

興味・関心

目標意識

知的好奇心

競争原理

強化子

成功感

社会的動機 

経過・成果意識

自己動機付け



## 支援計画を立てる手順 ②

【面接するにあたって所持しておきたい基礎知識】



「お子さんの障がい特性からするとですね・・・」

- 1 神経発達症群／神経発達障害群
- 2 統合失調症スペクトラム障害および  
他の精神病性障害群
- 3 双極性障害および関連障害群
- 4 抑うつ障害群
- 5 不安症群／不安障害群
- 6 強迫症および関連症群○強迫性障害および  
関連障害群
- 7 心的外傷およびストレス因関連障害群
- 8 解離症群○解離性障害群 などなど

### 1 神経発達症群／神経発達障害群

【知的能力障害群】

【コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群】

言語症/言語障害・語音症/語音障害・小児期発症流暢症/小児期発症流暢障害（吃音）

社会的（語用論的）コミュニケーション症/社会的（語用論的）コミュニケーション障害

特定不能のコミュニケーション症/特定不能のコミュニケーション障害

【自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害】

【注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害】

【限局性学習症／限局性学習障害】

【運動症群／運動障害群】

【チック症群／チック障害群】

トゥレット症/トゥレット障害・持続性（慢性）運動または音声チック症/ 持続性（慢性）運動

または音声チック障害・暫定的チック症/暫定的チック障害・他の特定されるチック症/他の特定される

チック障害特定不能のチック症/特定不能のチック障害

【他の神経発達症群／他の神経発達障害群】

### A. 複数の状況で社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的な欠陥

- (1) 相互の対人的・情緒的関係の欠落
- (2) 対人的相互反応で非言語コミュニケーション行動を用いることの欠陥
- (3) 人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥

### B. 行動、興味、または活動の限定された反復的な様式で、現在または病歴によって、以下の少なくとも2つにより明らかになる（以下の例は一例であり、網羅したものではない）

- (1) 常同的または反復的な身体の運動、物の使用、または会話
- (2) 同一性への固執、習慣へのかたくなこだわり、または言語的・非言語的な儀式的行動様式
- (3) 強度または対象において異常なほど、きわめて限定され執着する興味
- (4) 感覚刺激に対する過敏さまたは鈍感さ、または環境の感覚的側面に対する並外れた興味

### C. 症状は発達早期に存在していなければならない（しかし社会的要求が能力の限界を超えるまで症状は明らかにならないかもしれないし、その後の生活で学んだ対応の仕方によって隠されている場合もある）。

### D. その症状は、社会的、職業的、または他の重要な領域における現在の機能に臨床的に意味のある障害を引き起こしている。

### E. これらの障害は、知的能力障害（知的発達症）または全般的発達遅延ではうまく説明できない。知的能力障害と自閉スペクトラム症はしばしば同時に起こり、自閉スペクトラム症と知的能力障害の併存の診断を下すためには、社会的コミュニケーションが全般的な発達の水準から期待されるものより下回っていなければならない。

A 1：以下の不注意症状が6つ（17歳以上では5つ）以上あり、6ヶ月以上にわたって持続している。

- a. 細やかな注意ができず、ケアレスミスをしやすい。
- b. 注意を持続することが困難。
- c. 上の空や注意散漫で、話をきちんと聞けないように見える。
- d. 指示に従えず、宿題などの課題が果たせない。
- e. 課題や活動を整理することができない。
- f. 精神的努力の持続が必要な課題を嫌う。
- g. 課題や活動に必要なものを忘れがちである。
- h. 外部からの刺激で注意散漫となりやすい。
- i. 日々の活動を忘れがちである。

A 2：以下の多動性/衝動性の症状が6つ（17歳以上では5つ）以上あり、6ヶ月以上にわたって持続している。

- a. 着席中に、手足をもじもじしたり、そわそわした動きをする。
- b. 着席が期待されている場面で離席する。
- c. 不適切な状況で走り回ったりよじ登ったりする。
- d. 静かに遊んだり余暇を過ごすことができない。
- e. 衝動に駆られて突き動かされるような感じがして、じっとしていることができない。
- f. しゃべりすぎる。
- g. 質問が終わる前にうっかり答え始める。
- h. 順番待ちが苦手である。
- i. 他の人の邪魔をしたり、割り込んだりする。

B：不注意、多動性/衝動性の症状のいくつかは12歳までに存在していた。

C：不注意、多動性/衝動性の症状のいくつかは2つ以上の環境（家庭・学校・職場・社交場面など）で存在している。

D：症状が社会・学業・職業機能を損ねている明らかな証拠がある。

E：統合失調症や他の精神障害の経過で生じたのではなく、それらで説明することもできない

A. 学習や学業的技能の使用に困難があり、その困難を対象とした介入が提供されているにもかかわらず、以下の症状の少なくとも1つが存在し、少なくとも6ヶ月間持続していることで明らかになる：

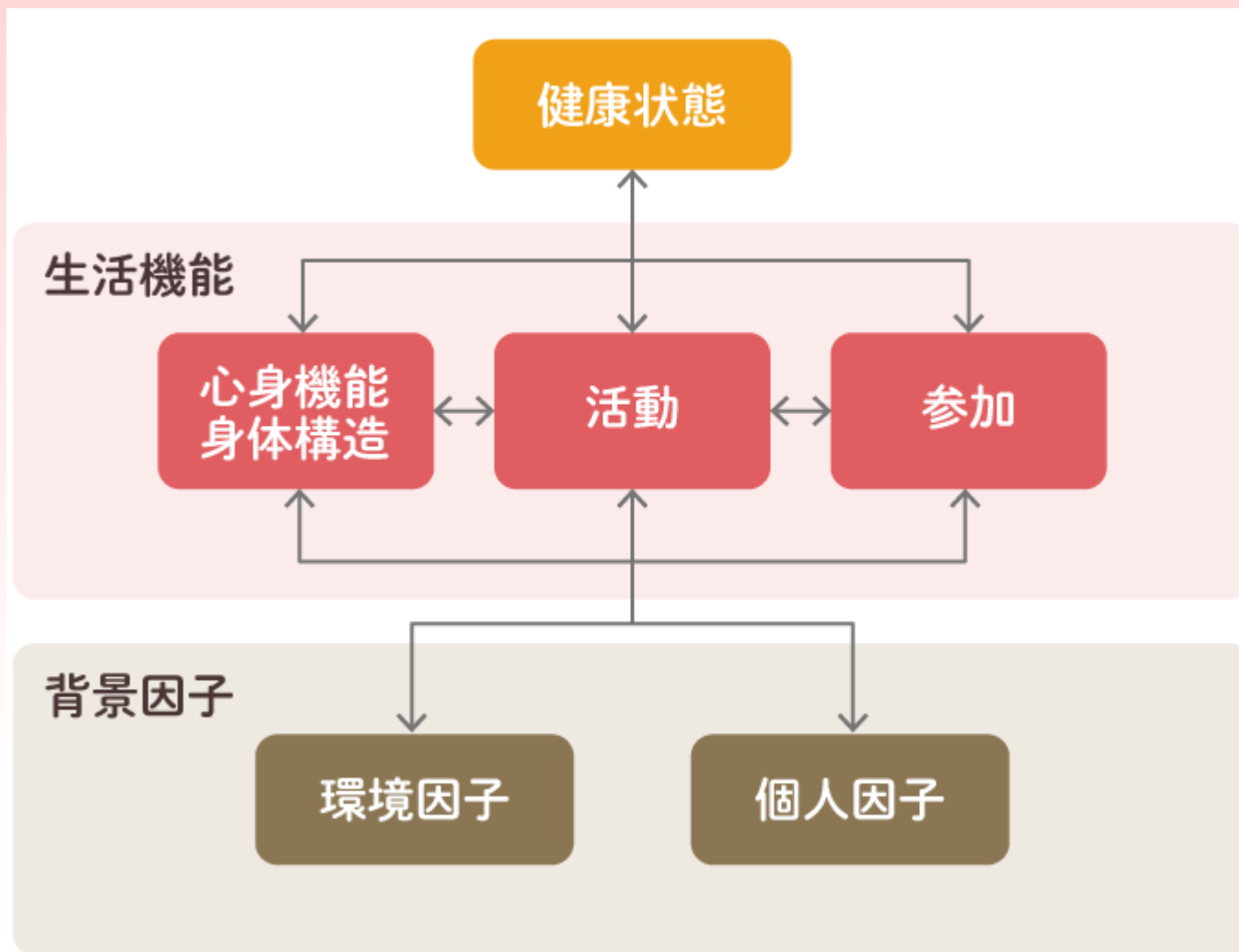
- (1) 不的確または速度が遅く、努力を要する読字(例：単語を間違ってまたゆっくりとためらいがちに音読する、しばしば言葉を当てずっぽうに言う、言葉を発音することの困難さをもつ)
- (2) 読んでいるものの意味を理解することの困難さ(例：文章を正確に読む場合があるが、読んでいるもののつながり、関係、意味するもの、またはより深い意味を理解していないかもしれない)
- (3) 綴字の困難さ(例：母音や子音を付け加えたり、入れ忘れたり、置き換えたりするかもしれない)
- (4) 書字表出の困難さ(例：文章の中で複数の文法または句読点の間違いをする、段落のまとめ方が下手、思考の書字表出に明確さが無い)
- (5) 数字の概念、数値、または計算を習得することの困難さ(例：数字、その大小、および関係の理解に乏しい、1桁の足し算を行うのに同級生がやるように数字的事実を思い浮かべるのではなく指を折って数える、算術計算の途中で迷ってしまい方法を変更するかもしれない)
- (6) 数学的推論の困難さ(例：定量的問題を解くために、数学的概念、数学的事実、または数学的方法を適用することが非常に困難である)

B. 欠陥のある学業的技能は、その人の暦年齢に期待されるよりも、著明にかつ定量的に低く、学業または職業遂行能力、または日常生活活動に意味のある障害を引き起こしており、個別施行の標準化された到達尺度および総合的な臨床消化で確認されている。17歳以上の人においては、確認された学習困難の経歴は標準化された評価の代わりにしてよいかもしれない。

C. 学習困難は学齢期に始まるが、欠陥のある学業的技能に対する要求が、その人の限られた能力を超えるまでは完全には明らかにはならないかもしれない(例：時間制限のある試験、厳しい締め切り期間内に長く複雑な報告書を読んだり書いたりすること、過度に思い学業的負荷)。

D. 学習困難は知的能力障害群、非矯正視力または聴力、他の精神または精神疾患、心理社会的逆境、学業的指導に用いる言語の習熟度不足、または不適切な教育的指導によってうまく説明されない。





ICFとは？ 

## 支援計画を立てる手順 ②

【面接するにあたって心得ておきたい基本的な考え方】



「“Disability” と “Disorder”

# 面接時の基本的考え方

# 「障がい」の2つの“D”

## D i s a b i l i t y

Learning Disability, LD

Weblio 英和辞典・和英辞典 1137万語収録!

英和辞典 英語例文 英語類語 共起表現 英単語帳 英語力診断 英語翻訳 英会話 スピーキングテスト 優待

ターボ検索 OFF ON ability 一致する 項目を

Weblio 辞書 > 英和辞典・和英辞典 > 英和辞典 > abilityの意味・解説

シェアする いいね! ツイート 広告を消す

意味 例文 (999件) 類語 共起表現

**ability**とは  
意味・読み方・使い方

主な意味 **できること、能力、技量、力量、才能**

**new!** →イラストで分かる英単語

音節 a·bil·i·ty 発音記号・読み方 / əbɪləti (米国英語) /

|                     |                                                            |
|---------------------|------------------------------------------------------------|
| abilityの品詞ごとの意味や使い方 | 名詞としての意味・使い方 【接尾辞】としての意味・使い方                               |
| abilityの変形一覧        | 名詞: abilities(複数形)                                         |
| abilityの学習レベル       | レベル: 1 英検: 3級以上の単語 学校レベル: 中学以上の水準 TOEIC® L&Rスコア: 220点以上の単語 |

**new!** →TOEIC頻出のビジネス英語450語!

## D i s o r d e r

Attention-deficit hyperactivity disorder、ADHD

Weblio 英和辞典・和英辞典 1137万語収録!

英和辞典 英語例文 英語類語 共起表現 英単語帳 英語力診断 英語翻訳 英会話 スピーキングテスト 優待

ターボ検索 OFF ON order 一致する 項目を

Weblio 辞書 > 英和辞典・和英辞典 > 英和辞典 > orderの意味・解説

シェアする いいね! ツイート 広告を消す

意味 例文 (999件) 類語 共起表現

**order**とは  
意味・読み方・使い方

主な意味 **順序、順、語順、整理、整頓(せいとん)、整列、(...の)状態、調子、(社会の)秩序、治安**

**new!** →イラストで分かる英単語

音節 or·der 発音記号・読み方 / ˈɔːdə (米国英語), ˈɔːdə (英国英語) / フリガナ オーダー

コア **順序づけられた秩序**  
「順序」と「秩序」の要素があり、秩序を求めて出す「命令、指示」、さらには指示の一環としての「注文」などの意が派生する

『新たなできる』をつくる・『今あるできる』を増やす の見極め